

Symposium

必要としている子どもに食の支援を届けるための 支援者連携の在り方を考える

シンポジウムでは、研究班で作成した本支援ツール、新型コロナウイルス流行下での子どもの食支援を積極的に行われてきたいくつかの地域の事例の紹介、そして必要な子どもに支援が届くための地域の仕組みづくりにおいて目指すべき未来像や今後の課題について専門家の講演、また登壇者、シンポジウム参加者を交えた討議を予定しております。

開催
日時

2023年
1月11日(水)
14:00～16:30

申込
期間

【来場参加用】

2022年11月1日～2023年1月6日

【オンライン参加用】

2022年11月1日～2023年1月10日

※定員に達した場合は期間中でも締切となります。

定員

先着 **530名**
来場 30名・オンライン 500名

形式

ハイブリット形式

【来場参加】フクラシア八重洲

【オンライン参加】Zoom

プログラム

- ▶ 藤沢市での取り組み (元 藤沢市教育委員会 学校給食課 課長補佐 菊地誠)
～普段の顔の見える関係において、コロナ禍で軽食・食材配布を行った事例～
- ▶ 藤沢市での取り組み (藤沢市社会福祉協議会 小野秀樹)
～コミュニティソーシャルワーカーの個別訪問による食材配を行った背景～
- ▶ 鳥取市での取り組み (鳥取市役所 総務部 人権政策局次長 中央人権福祉センター所長 川口寿弘)
～部局の学習支援から始まりその後に子ども食堂ネットワークへ広がっていった過程～
- ▶ 山梨県での取り組み (認定 NPO 法人フードバンク山梨 理事長 米山けい子)
～設立当時から現在までマスメディアもうまく活用して食材や寄付金を増やし事業を拡大していった過程～
- ▶ 子どもの食生活を地域で支えるしくみづくり
～現状、課題と目指すべき未来像～
(認定 NPO 法人全国こども食堂支援センター・むすびえ 理事長 湯浅誠)

申込
方法

参加の受付は WEB 申込となります。
下記 URL 又は QR コードよりお申込み下さい。

【来場参加用】

<https://maxpart.seminarone.com/20230111fukuracia/event/>

【オンライン参加用】

<https://maxpart.seminarone.com/20230111online/event/>



参加
費用

無料

本件に関するお問い合わせ先

国立研究開発法人 国立成育医療研究センター 研究所 社会医学研究部

〒157-8535 東京都世田谷区大蔵 2-10-1 E-mail: kodomo_nutr@ncchd.go.jp



国立研究開発法人

国立成育医療研究センター

National Center for Child Health and Development